

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : ジェントルクレンザーハンドソープ フォームタイプ
 製品コード : 111B222QE001JC500G
 会社名 : 株式会社ジュアンビューティ 尼崎工場
 住所 : 〒660-0095 兵庫県尼崎市大浜町 1-56
 担当部門 : 品質管理室
 電話番号 : 06-6418-0710
 FAX 番号 : 06-6418-0699
 メールアドレス : g_amg_kmsds@nof.co.jp
 緊急連絡先 : 06-6419-7483 (日油株式会社 尼崎工場)
 整理番号 : 113B222QE000
 推奨用途及び使用上の制限 : 清浄用化粧品

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 : 特に情報なし

GHS 分類

物理化学的危険性 : 全クラス 該当しない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外

急性毒性(経皮) : 分類できない

急性毒性(吸入) : 分類できない

皮膚腐食性/刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性

: 区分 2 A

区分 2 B

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)

: 分類できない

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)

: 分類できない

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性・急性 : 区分外

水生環境有害性・慢性 : 区分外

ラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 眼刺激

注意書き

予防策 : 保護眼鏡/保護面を着用すること。
環境への放出を避けること。

対応 : 眼に入った場合：水で15分以上注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。

製品安全データシート

	眼の刺激が続く場合は、医師の診断 / 手当てを受けること。 取り扱った後、手を洗うこと。 漏出物を回収すること。
保管	： 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
廃棄	： 内容物 / 容器を廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。
使用上の注意	： M S D S (製品安全データシート)記載事項を参照のこと。
国 / 地域情報	： J I S 分類に準拠
<hr/>	
3. 組成、成分情報	
単一製品・混合物の区分	： 水溶液
化学名	： 界面活性剤、その他の配合品水溶液
一般名	： 清浄用化粧品（全成分表示名称を16項に記載）
含有量	： 非公開
化学特性	
化学式（示性式）	： 非公開
官報公示整理番号（安衛法）	： 各成分とも既存。
CAS 番号	： 各成分とも登録あり。
PRTR 法対象物質	： 該当しない。
安衛法対象物質	： 含有しない。
毒劇法対象物質	： 含有しない。
危険有害成分	： 含有しない。
危険有害不純物	： 含有しない。
<hr/>	
4. 応急措置	
吸入した場合	： 新鮮な空気のある場所へ移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	： 多量の水及び石鹸で洗い流す。 症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合	： 直ちに清浄な流水で充分洗眼した後、医師の処置を受ける。コンタクトレンズは可能であれば取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合	： 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。 直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
応急措置をする者の保護	： 救護者は、ゴーグル、ゴム手袋等の適切な保護具を着用する
<hr/>	
5. 火災時の措置	
消火剤	： 水溶液のため直接燃焼することはない。水分が蒸発した後に燃焼した場合、消火する時は、粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水等の消火剤を用いて消火する。
使ってはならない消火剤	： 棒状の水
火災時の特有の危険有害性	： 燃焼ガスには、窒素酸化物、リン酸化物等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
特有の消火方法	： 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火作業は、可能な限り風上から行う。 関係者以外は安全な場所に退避させる。 周囲の設備などに散水して冷却する。 消火のため放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
消火を行う者の保護	： 消火作業では、適切な保護具（手袋、保護眼鏡、防毒マスク等）を着用する。燃焼ガスには、窒素酸化物、リン酸化物、一酸化炭素等を含む有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。

製品安全データシート

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

：作業には、必ず保護具（手袋、保護眼鏡、マスクまたは防塵マスク等）を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

環境に対する注意事項

：漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法・機材

：少量の場合、吸着剤（おがくず・土・砂・ウェス等）で吸着させ取り除いた後、残りは河川、用水路に流さないように水で洗い流す。

多量の場合、付近への流出拡大防止のため、周囲を土砂等で囲って流出を防止し、ドラム等に回収する。大部分を回収した後、河川、用水路に流さないように水で洗い流す。

二次災害の防止策

：床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。

漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

：取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。

容器を粗暴に取扱わない。

局所排気・全体換気

：作業場は必要に応じて換気を行う。

注意事項

：特になし。

安全取扱い注意事項

：保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。

取扱後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。

保管

技術的対策

：保管場所の床は製品が浸透しない構造、取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

適切な保管条件

：通気の良い場所で容器を密閉し保管する。

安全な容器・包装材料

：製品使用容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

：蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。

許容濃度

日本産業衛生学会

：設定されていない（2009年）。

ACGIH

：設定されていない（2009年）。

保護具

呼吸器の保護具

：通常の取り扱いではとくに必要ない。

手の保護具

：不浸透性（耐薬品、耐油、耐溶剤）保護手袋

目の保護具

：側板付き保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

：長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

：液体

色

：わずかに黄淡色（透明）

臭い

：僅かに特異臭（無香料）

臭いの閾値

：データなし。

pH

：5.6（原液・25）

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点、初留点と沸騰範囲

：データなし（水溶液）

分解温度

：データなし。

製品安全データシート

引火点	: 引火しない。
蒸発速度	: データなし(水溶液)。
発火点	: 発火しない。
燃焼又は爆発範囲	: 該当しない。
蒸気圧	: データなし(水溶液)。
蒸気密度	: データなし(水溶液)。
比重	: 1.017(25/25)
溶解性	
水に対する溶解性	: 可溶。
溶媒への溶解性	: メタノール、エタノール、アセトン等極性溶剤に可溶
オクタノール/水分配係数	: データなし。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の保管や一般的な使用条件では安定。
危険有害反応可能性	: 酸性物質により組成変化を起こす。
避けるべき条件	: 特になし。
混触危険物質	: データなし。
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物、リン酸化物(燃焼時)。
その他	
自己反応性	: 特になし。
熱分析	: データなし。

11. 有害性情報

急性毒性

経口 LD ₅₀ (ラット)	: 1,700 mg / kg (アシルメチルタウリンナトリウム); 1) 5,000 mg / kg (アミドプロピルベタイン); 2) 16,000 mg / kg (ジプロピレングリコール); 6)
経口 LD ₅₀ (マウス)	: 6,630 mg / kg (アシルメチルタウリンナトリウム); 1)
経皮 LD ₅₀ (ラット)	: > 5,000 mg / kg (ジプロピレングリコール); 6)
吸入 LC ₅₀ (ラット)	: 6,000 mg / m ³ (ジプロピレングリコール); 6)
その他の急性毒性情報	: 腹腔内: LD ₅₀ マウス 131 mg / kg (アルキルイミダゾリニウムベタイン); 1)

局所効果(皮膚、目等)

皮膚腐食性	: 該当しない。
皮膚刺激性	: ・兎: 20%, ドレイズ法 一時刺激指数: 0.82 (弱い刺激) (アルキルイミダゾリニウムベタイン); 2) ・モルモット: 1% 24時間閉塞接触、10日、刺激なし。(アシルメチルタウリンナトリウム); 2) ・ラビット: 1.5% ドレイズ法, 一次刺激指数: 0.42 (軽度)(アミドプロピルベタイン); 2) ・ウサギ皮膚刺激試験 無刺激~僅かに刺激(ジプロピレングリコール); 7)

眼に対する重篤な損傷/刺激性

	: ・ウサギ(ドレイズ法): 10%, 1時間 角膜汚濁 7日回復 (アルキルイミダゾリニウムベタイン); 1) ・ウサギ: 8.0%液点眼 リンスなしで角膜評点 2.5。(アシルメチルタウリンナトリウム); 2) ・ドレイズ法: ラビット, 5%水溶液でLSの20%同程度 (24Hr: 変化なし)(アミドプロピルベタイン); 2) ・ドレイズ試験 僅かに刺激性(ジプロピレングリコール); 6)
--	--

その他の刺激性情報

呼吸器感作性又は皮膚感作性	: ・皮膚; モルモットのマキシマイゼーションテスト及び人塗布試験で感作性無し。(アミドプロピルベタイン); 4)
---------------	---

発がん性

製品安全データシート

IARC	: リストには記載されていない。
NTP	: リストには記載されていない。
日本産業衛生学会	: リストには記載されていない。
生殖細胞変異原性	: ・ B . s u b t i l i s H - 1 7 , H - 4 5 N の修復試験で陰性 (アルキルイミダゾリニウムベタイン); 2) ・ A m e s テスト 陰性; 4) マウス小核試験 陰性; 5) (アミドプロピルベタイン)
催奇形性	: ・ ウサギ; 反復経口投与 (1ヶ月) NOAEL > 1 , 2 0 0 m g / k g (ジプロピレングリコール); 7)
生殖毒性	: ・ ラット; 反復経口投与 (3週間) NOAEL = 8 0 0 m g / k g (ジプロピレングリコール); 7)
特定標的臓器・全身毒性 - 単回暴露	: データなし。
特定標的臓器・全身毒性 - 反復暴露	: データなし。
吸引性呼吸器有害性	: データなし。

1 2 . 環境影響情報

土壤中の移動性	: 本品のデータはないが物性 (水に可溶) より K O C (土壤吸着係数) の値は低いと推定され、土壤環境における移動性は高いと推定される。
残留性 / 分解性	: ・ 活性汚泥濃度: 3 0 p p m , 被験物濃度: 1 0 0 p p m , 試験期間: 4 週間, 分解率: 5 8 % (B O D) , 6 2 % (D O C) , > 9 8 % (被験物質残存濃度からの分解度 (H P L C)) (アルキルイミダゾリニウムベタイン); 3) ・ B O D の分解度: 1 0 3 % , D O C の分解度: 9 6 % , 被験物質残存濃度からの分解度 (H P L C): > 9 5 % (アシルメチルタウリンナトリウム); 3) ・ 活性汚泥濃度: 3 0 p p m , 被験物濃度: 1 0 0 p p m , 試験期間: 4 週間, 分解率: 7 6 % (B O D) , 分解性が良好と判断される物質。 (アミドプロピルベタイン); 3)
生体蓄積性	: 本品のデータはないが物性 (水に可溶) より B C F (生態蓄積性) の値は低いと推定され、水棲生物に対する蓄積性はない又は低いと推定される。
生態毒性 (水棲生物毒性)	: ・ L C 5 0 (4 8) = 3 , 1 8 1 m g / L (アフリカツノガエル、ジプロピレングリコール); 8) ・ L C 5 0 (2 4) = 5 , 0 0 0 m g / L (金魚、ジプロピレングリコール); 8)
魚毒性 LC ₅₀ (96)	: 1 ~ 1 0 m g / L (ゼブラフィッシュ、8 4 / 4 4 9 / E E C - C . 1、アミドプロピルベタイン); 4)

1 3 . 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) 及び関係法規・法令を遵守し、適正な処理をするように依頼する。
汚染容器・包装	: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) 及び関係法規・法令を遵守して、適正な処理をするように依頼する。

1 4 . 輸送上の注意

国内法規制	
陸上輸送	: 規制には該当しない。
海上輸送	: 規制には該当しない。

製品安全データシート

航空輸送	: 規制には該当しない。
国連分類(クラス、名称)	: 分類基準に該当しない。
国連番号	: 該当しない。
Marine Pollutant (海洋汚染物質)	
	: 該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件	
	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。
指針番号(緊急時応急措置指針)	
	: 171

15. 適用法令

国内適用法

化審法	: 化粧品であるため対象外。
消防法	: 該当しない。
労働安全衛生法	: 該当しない。
(通知対象物質)	: 含有しない。
(ガン原性物質)	: 含有しない。
(変異原性物質)	: 含有しない。
毒物及び劇物取締法	: 該当しない。
船舶安全法	: 該当しない。
航空法	: 該当しない。
火薬類取締法	: 該当しない。
高圧ガス保安法	: 該当しない。
化学物質管理促進法	: 該当しない。
海洋汚染防止法	: 有害液体物質(Z類)
その他の法令	: 薬事法を遵守のこと。

物質登録情報

TSCA	: 化粧品であるため対象外。
------	----------------

16. その他の情報

引用文献

- 1) REGISTRY OF TOXIC EFFECTS OF CHEMICAL SUBSTANCES
- 2) 界面活性剤の警告表示に関するガイドライン(日本界面活性剤工業会)
- 3) 外部機関依頼; 経済産業省試験法 (*) 準拠
- 4) IUCLID Dataset(ECB 2000) ID 61789-40-0
- 5) EPA HPVIS (High Production Volume Information System)
ID 25026162 (Fatty Nitrogen Derived Amphoteric N-carboxymethyl substituted)
- 6) OECD: SIDS レポート (SIDS Initial Assessment Report) (2001)
- 7) ECB: IUCLID Dataset (2000) ID 25265-71-8
- 8) AQUIRE (Aquatic Toxicity Information Retrieval) (2010)

* 昭和49年通達「新規化学物質等に係る試験の方法について」
(環保業第5号・薬発第615号・49基局第392号)

[全成分表示名称]

水、DPG、コイルメチルタウリンNa、ポリクオタニウム-51、ココアンホ酢酸Na、ココミドプロピルベタイン、クエン酸、フェノキシエタノール、メチルパラベン、プロピルパラベン

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常的な取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。